

授業科目

介護過程V

担当教員名 吉田 輝美	対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	◎

授業の概要

他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。

授業の目的

他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。

○介護過程とチームアプローチについて理解する

学習目標

- 1)介護過程の意味や意義が理解できる
- 2)他職種との連携について理解できる
- 3)利用者を支援する会議の種類や目的について理解できる
- 4)会議で話し合った内容を統合することができる
- 5)会議で発言することができる
- 6)ケアプラン作成の流れを理解し発表することができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	介護過程の意義と目的	講義	吉田 輝美
2	他職種との連携のあり方：カンファレンスに参加して	講義	吉田 輝美
3	他職種との連携のあり方：カンファレンスに参加して	演習	吉田 輝美
4	サービス担当者会議の役割	演習	吉田 輝美
5	サービス担当者会議の役割：運営方法	演習	吉田 輝美
6	サービス担当者会議の役割：運営方法（提出資料の作成方法）	演習	吉田 輝美
7	サービス担当者会議の役割：運営方法（提出資料の作成方法）	演習	吉田 輝美
8	サービス担当者会議の役割：運営の実際（利用者中心とは）	演習	吉田 輝美
9	サービス担当者会議提出資料の作成	演習	吉田 輝美
10	サービス担当者会議提出資料の作成	演習	吉田 輝美
11	サービス担当者会議提出資料の作成	演習	吉田 輝美
12	在宅サービスの種別と実際	演習	吉田 輝美
13	在宅サービスの種類と実際	演習	吉田 輝美
14	在宅サービスの種類と実際	演習	吉田 輝美
15	振り返り	演習	吉田 輝美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	事例で読み解く介護過程の展開	森繁樹	中央法規出版	2016年		前年度購入済み
参考書						
その他の資料						

評価方法

レポート・授業態度・グループワークへの参加状況

履修上の留意点

演習が中心の科目ですので、高い参加意識で出席してください。

オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること